

# 埋込手洗器取付説明書

## 安全のために必ずお守りください

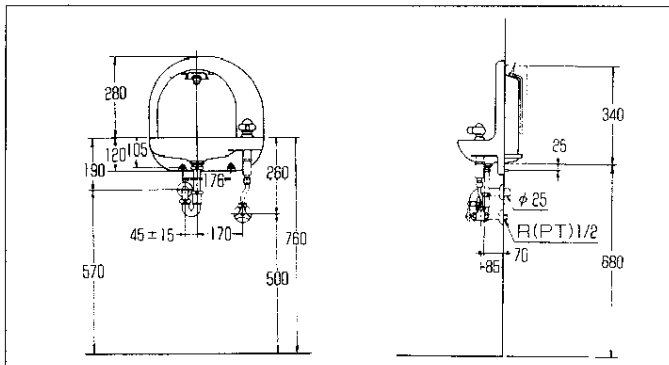
ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

**△注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

## 完成図

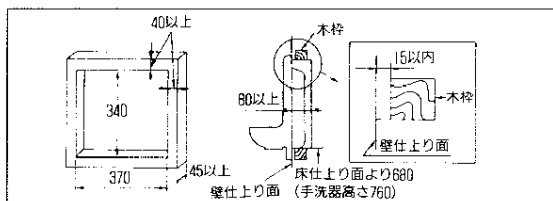
完成図はTLB33Pの場合を示します。



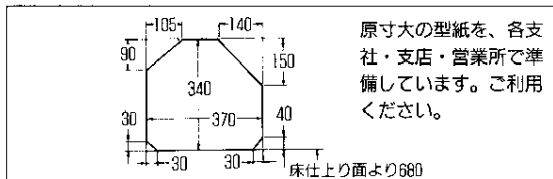
## 下準備

(例乾式工法 (プラスターボード等))

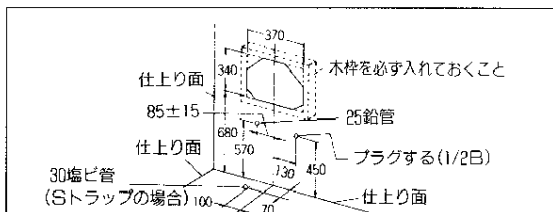
壁仕上げ前に、木ねじ固定用の木枠を壁心材(桧木)に固定しておいてください。



壁仕上げ後、木枠を埋込んだ位置を割り出し、下に示す寸法に壁を切り欠いてください。



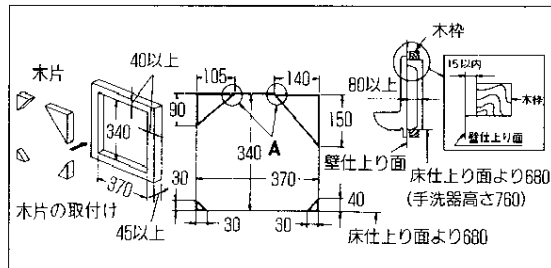
プラスターボードの場合の給排水位置



(注)Pトラップの排水位置は手洗器の排水口芯から左又は右に45±15です。(木枠の中心から85±15)

(例湿式工法 (ブロック壁等))

壁仕上げ前に埋込む木枠は、あらかじめ下図のように四隅に木片を取付けてください。壁仕上げを行うのに必要です。



(注)木枠及び木片は陶器でかくせませんので必ず木枠の面にも壁仕上げを行ってください。

(注)A部付近は、後で木ねじで手洗器を固定します。四隅の木片を釘で固定する場合はA部付近に釘がこないようご注意ください。

## 器具の取付け

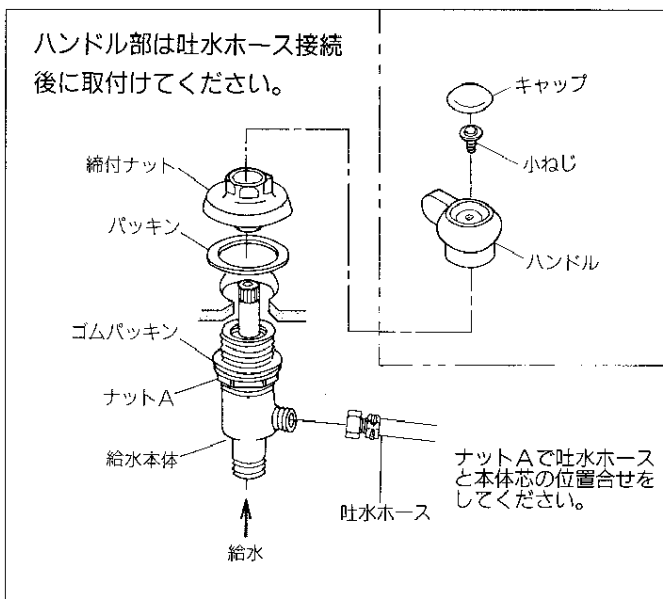
次の手順で行ってください。

### 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

### 2. 給水金具の取付け

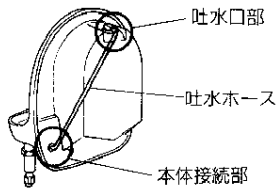
#### (1) 給水本体の取付け



#### (2) 吐水ホース及び吐水口の取付け

### △注意

ホースクリップが無いと、ホースが抜けることが有りますので注意願います。

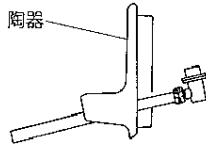


(注)吐水ホースの、凍結、防露対策は必要に応じて現場にて行ってください。  
 (注)吐水ホースは破損、変形しないよう取扱いに注意してください。

①本体接続部の取付け手順

①吐水口側接続継手とホースのセットされた物を箱から取出す。吐水ホース、ホースクリップ、パッキン、継手

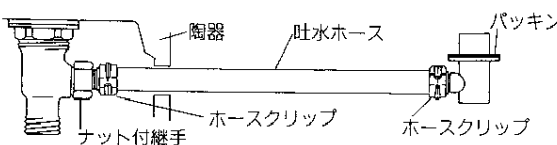
②陶器下部穴(本体接続部)にホースを通す。



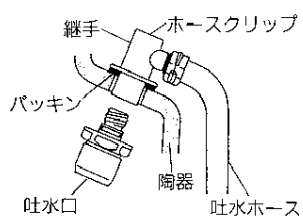
③箱から本体を取り出し吐水ホースを継手に差込んだ後、ホースクリップで吐水ホースを固定する。



④ナットを緩め吐水ホース部を外した後、本体を陶器に仮付けし先に外したナットを本体に締付けた後、本体を固定する。



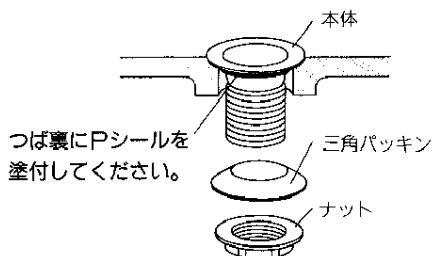
⑤吐水口部の固定  
 陶器の吐水口取付け穴部の汚れをふき取る。継手に貼付けている、パッキンのセパレート紙をはぎ陶器面に取付けた後、吐水口を接続する。  
 ※ホースがねじれないように注意の事。



⑥ハンドルを取りつけて下さい。

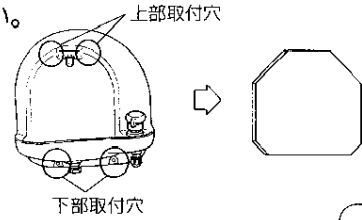
3.排水金具の取付け

手洗器に排水金具の本体部を取付けてください。



4.手洗器の取付け

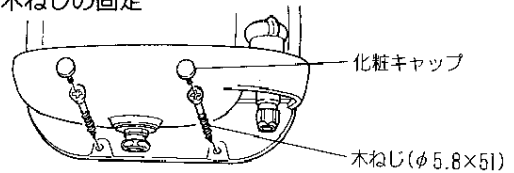
手洗器を仮置きして、取付穴の位置をけがき、下穴(4力所)をあけてください。



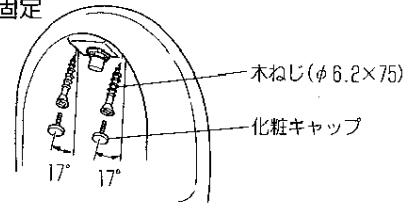
(注)上部木ねじの下穴をあける際は陶器の傾き(約17°)に合わせて穴あけをしてください。

次の手順で木ねじを固定してください。

①下部木ねじの固定

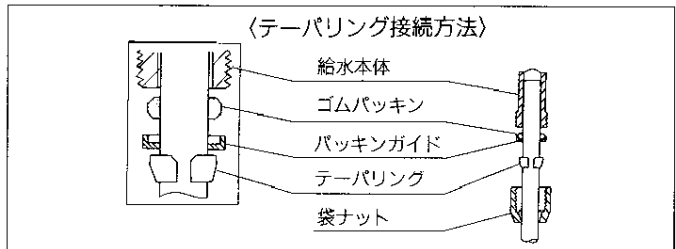


②上部木ねじの固定



(注)上部木ねじと下部木ねじは長さ違いますのでまちがわないようにしてください。  
 (注)施工後の補修を容易にするために、手洗器をモルタルで埋戻したり接着剤での固定はしないでください。

5.排水金具の本体部以降及び止水栓を取付けてください。給水管はテーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないようにして接続してください。



お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でふくこと。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。